

ある日の一日 ～マラソン大会練習&手話教室～

令和6年11月12日（火）

初冬の寒さもどこへやら、晴天の下、運動場からこどもたちの**元気な声**が聞こえてきました。



こどもたちは、ZARDの名曲“負けないで”に合わせて、**5分完走**にチャレンジしています！



ふとした瞬間に
視線がぶつかる～♪
幸福のときめき覚えている
でしょ...

負けないで もう少し
最後まで走り抜けて 🎵

その調子で、2週間先に開催される校内マラソン大会の本番を目指して、頑張ってくださいね(^ ^)/

運動場を横目に、続いて体育館の方へ足を運ぶと、マイクアナウンスが聞こえてきました。

体育館を覗いてみると...



3年生の児童を対象とした**手話教室**が開催されていました。

この手話教室は毎年開催しているもので、今年は葛城市聴力障害者協会会長の岸本さん、手話サークル友情のボランティアさん3名に来校していただき、いろいろなお話をしていただきました。



会長の岸本さんから、手話を通じて、

「学生時代に90分かけて通学していたこと」や

「奈良県内にろう学校は1校しかないこと」

「ろう学校の生徒は、1クラス5名程度であること」etc...

クイズ形式で、いろいろなお話をしていただきました。



また、基本の手話もいくつか教えていただき、みんなで手話に取り組みました。

お話を聞いて、改めて、

手話は大切なコミュニケーションの一つだなあ...

と感じました。